

令和2年度 学校評価表（当初）

学校教育目標 一歩前へ！果敢に挑戦 一夢を志に一

ミッション 「西中だからこそ」の

ビジョン 信頼され誇れる学校

A：達成 B：概ね達成 C：もう少し D：できなかった

海田町立海田西中学校

	中期経営目標	短期経営目標	評価項目	評価指標 A:達成 B:概ね達成 C:もう少し D:できなかった	目標達成のための具体的方策	評価結果	自己評価			学校関係者評価 コメント
							評価点	成果○と課題▲	改善策	
確かな学力の育成	学力で一歩前へ果敢に挑戦	○夢を志にする力の育成	各種学力調査で全国平均値を超えることができる。 1年,2年:CRT(標準学力検査)【国社数理英】とする。	A:全教科 B:3教科以上 C:2教科以上 D:1教科以下	・全教職員で本校の課題を共有化し、個に寄り添った学習支援をするために、「学習定着週間」や長期休業中の補充学習を行う。 ・国・数・英3教科の家庭学習ノートの取組を行い、授業で学んだことを繰り返し学習させたり、振り返りを行わせたりしていく。 ・各種テストにおいて、生徒実態を把握し、PDCAを行い授業改善につなげる。	中間				
		○授業力の向上	①授業では、解決しようとする課題について「たぶんこうではないか」「こうすればできるのではないか」と予想しています。②授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手にわかりやすく伝わるように発表をくふうしています。③振り返りを行っています。と答える生徒の割合が前年度を上回る。(※③については新規。1回目調査と最終調査の比較とする)	A:5ポイント以上 B:1ポイント以上～5ポイント未満 C:県平均 D:上回ることができなかった	・振り返りの中では、「分かったこと・できるようになったこと」「まだ分からないこと・練習が必要なこと」「以降の授業で意識すること」の3点を軸に、自己の学習到達度をメタ認知させながら、次の学びや日々の活動への意欲へとつなげていく。 ・校内研修会を行い、すべての教員が授業改善の視点に基づいた単元開発を行う。	中間				
豊かな心の育成	豊かな心で一歩前へ果敢に挑戦	○生徒会活動の活性化	委員会活動の取組に積極的に協力、参加したとする生徒を80%以上にする(生徒指導部作成の生活実態調査による)	A:80%以上 B:70%～80%未満 C:60%～70%未満 D:60%未満	○委員会活動の取組が生徒一人一人のものとなるよう、各委員会は取組の進捗状況並びに成果と課題を明らかにさせていくとともに、地域・保護者へ発信する広報活動をさらに推進していく。 ○委員会の取組に則り優れた学級、生徒へは積極的に全体場で肯定的評価を行う。	中間				
		○道徳的実践力の向上	①生徒の自尊感情を高める肯定的な回答を全校で80%以上にする(QUアンケート「みんなのためになることを自分で見つけ実行している」項目) ②無言掃除ができたという生徒を100%にする(生徒指導部作成の生活実態調査による)	①A:80%以上 B:70%～80%未満 C:60%～70%未満 D:60%未満 ②A:100% B:90%～100%未満 C:70%～90%未満 D:70%未満	○あらゆる教育活動において、生徒がポジティブに自己を捉えるよう、タイミングの良い肯定的評価を学校、保護者、地域が一体となって行う。 ○体験活動の意義を説明し、生徒に意欲を持たせる。 ○無言掃除の意義を理解させ、海田西中独自の文化として定着するよう意欲を喚起していく。	中間				
体健やかな育	たくましい体で一歩前へ果敢に挑戦	○体力の向上	体力テストで、体力項目の80%以上、全国・県平均を上回る項目がある。	A:80%以上(48項目中) B:70%以上80%未満 C:60%以上70%未満 D:60%未満	○各自目標値を持って取り組ませる。 ○弱点補強を授業とリンクさせる。	中間				
誇れる学校	生徒、保護者、地域が誇れる西中に	○情報の受信・発信の充実	①保護者アンケート項目「子どもの学校の現状について」の満足度が昨年度を上回る。 ②生徒会執行部がホームページ用の原稿を作成し、アップする。	①A:すべての学年が昨年度以上 B:一部の学年が昨年度以上、どの学年も昨年度未満はなし C:昨年度と同じ(90%) D:昨年度を上回ることができない ②A:毎月複数回アップできる。 B:毎月アップできる。 C:毎学期アップできる。 D:できなかった。	○HPや学校だより等で、学校の取組や、やりきる生徒、関わりきる教職員の姿など、前向きな姿を発信する。 ○生徒会と連携し、学校行事や日々の活動について生徒目線での記事を盛り込んだ親しみやすいページを作る。	中間				
		働いて良かったと思える西中に	○働き方改革の推進	①教職員アンケート項目「生徒と向き合う時間が確保できている」の割合を70%以上にする。 ②時間外勤務の総時間数を、前年度比10%以上削減する。	①A:70%以上 B:60%以上 C:50%以上 D:50%未満 ②A:10%以上減 B: C: D:10%減未満	○今年度、組織の見直しを行い、業務の効率化をめざす。 ○毎週水曜日の職員朝会で定時退庁を呼びかける。	中間			